

パシフィック好配当株式ファンド(毎月分配型)

追加型投信／海外／株式

愛称: パシフィック・オーシャンズ

2014年9月



〈ファンドの特色〉

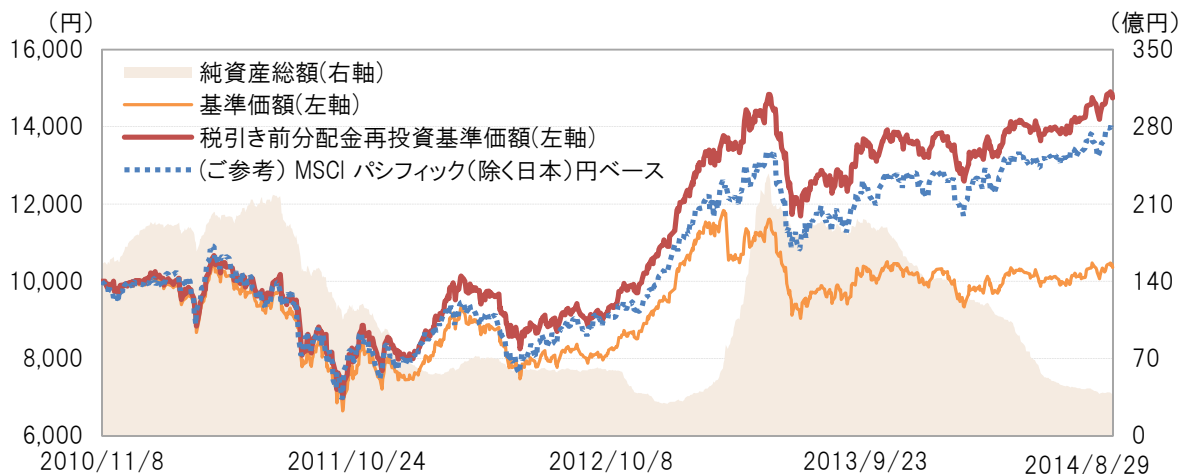
- パシフィック地域の先進国(オーストラリア、ニュージーランド、シンガポール、香港)株式に投資を行います。
- 好配当企業に着目し、定量モデルによる運用を行います。

注目ポイント!

- ▶ 格付けの高いパシフィック地域の先進国の好配当株式に投資することで、新興国国債(米ドル建て)や米国社債(ハイイールド)よりも高い利回りが期待できます。
- ▶ パシフィック地域は高い利益成長が見込まれながらも、他の先進国の株式と比較して出遅れ感があり、今後の上昇余地は大きいとみられます。

基準価額および純資産総額の推移(2010年11月8日～2014年8月29日)

- 設定来の基準価額(税引き前分配金再投資基準)は、MSCIパシフィック(除く日本)円ベースを上回り、堅調に推移しています。



※基準価額は1万口あたり。基準価額、税引き前分配金再投資基準価額は信託報酬控除後
 ※MSCI パシフィック(除く日本)円ベースは2010年11月8日を10,000として指数化
 出所:ブルームバーグのデータを基にBNYメロン・アセット・マネジメント・ジャパン株式会社が作成

各国の格付け(2014年8月末時点)

- パシフィック先進国4か国は、相対的に財務の健全性が高く、引き続き高い格付けを維持しています。

格付け	S&P	ムーディーズ
オーストラリア	AAA	Aaa
ニュージーランド	AA+	Aaa
シンガポール	AAA	Aaa
香港	AAA	Aa1
中国	AA-	Aa3
インドネシア	BB+	Baa3
インド	BBB-	Baa3

分配金実績(1万口あたり、税引き前)

- 予想配当利回り、パシフィック地域企業の利益成長見込み、分配金原資の水準等を勘案し、第43期に分配金の引き上げを行いました。

第1～7期	2010年12月17日～ 2011年6月17日	各45円
第8～26期	2011年7月19日～ 2013年1月17日	各50円
第27期	2013年2月18日	60円
第28期	2013年3月18日	1,000円
第29～42期	2013年4月17日～ 2014年5月19日	各60円
第43～45期	2014年6月17日～ 2014年8月18日	各100円

※分配金の金額は委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。
 上記の表は過去の実績であり運用状況によっては、分配金額が変わる場合、あるいは分配を行わない場合があります。

※各国の自国通貨建て長期債のデータを使用

パシフィック好配当株式ファンド(毎月分配型)

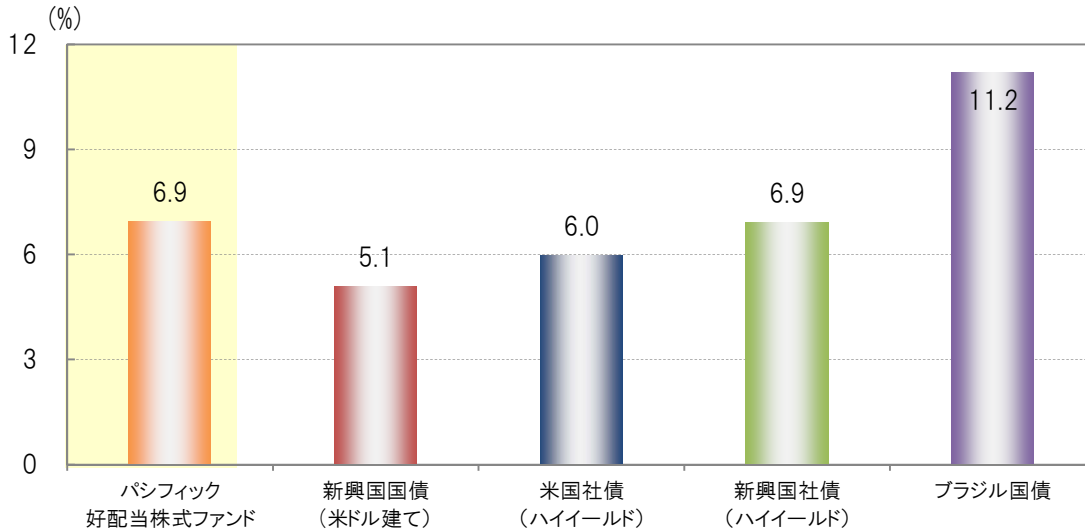
追加型投信／海外／株式

愛称: パシフィック・オーシャンズ



各資産の利回り比較(2014年8月末時点)

- 当ファンドの利回りは、2014年8月末時点で6.9%^{*1}と、引き続き新興国国債(米ドル建て)、米国社債(ハイイールド)を上回る魅力的な水準となっています。



出所:ブルームバーグのデータを基にBNYメロン・アセット・マネジメント・ジャパン株式会社が作成

*1 ファンドの利回りは、キャッシュを除く投資部分につき計算、税金・信託財産留保額控除前

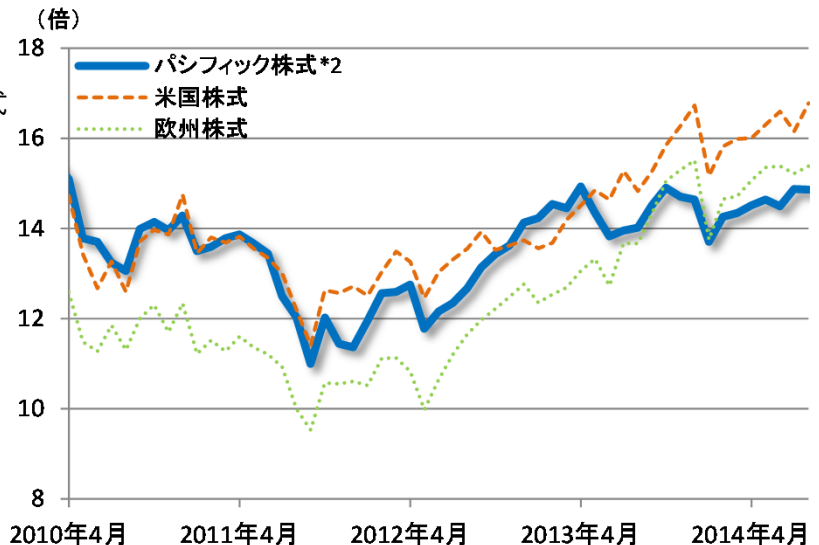
※新興国国債(米ドル建て):JPモルガンEMBI Global Diversified指数、米国社債(ハイイールド):BofA Merrill Lynch・USハイイールド・マスターIIインデックス、新興国社債(ハイイールド):JPモルガンCEMBI Broad Diversified High Yield 指数、ブラジル国債:10年国債利回り

米欧株式市場と比較したパシフィック株式市場の予想PER^{*2}の推移(2010年4月末~2014年8月末)

- 市場の利益予想に基づくパシフィック株式市場の予想PERを米欧市場と比較すると、パシフィック株式市場の予想PERは米欧市場より低くなっています。一つの要因としてパシフィック地域は中国との関連性が強く、中国景気に対する懸念が折り込まれていたと考えられます。然しながら、4月以降の景気刺激策やグローバルでの景気回復が続いていることによる中国の輸出への好影響等により、今後中国景気は安定化に向かう可能性が高いと考えられます。足元の経済統計においても、鉱工業生産や小売売上高の底堅い推移やHSBC製造業PMIの改善から、中国景気の下ブレリスクは後退しています。

- パシフィック株式市場の利益成長は、2015年末まで約25%と見込まれていることと合わせて考えると、パシフィック株式市場には上昇余地があるように見受けられます。

パシフィック株式
2015年末までの
2年間の予想EPS成長^{*3}
+24.8%
(年率約11.7%)



出所:ブルームバーグのデータを基にBNYメロン・アセット・マネジメント・ジャパン株式会社が作成

*2 投資対象各国指数 オーストラリア:S&P ASX200指数、ニュージーランド:NZSX浮動株500一タリターン、シンガポール:ST指数、香港:香港ハンセンの予想PERを2014年8月末のパシフィック好配当株式ファンドの組入株式の国別構成比率に基づき加重平均して算出

*3 *2に記載の指数につき、2013年末から2015年末までのEPSの増益率を求め、2014年8月末のパシフィック好配当株式ファンドの組入株式の国別構成比率に基づき加重平均して算出

※米国株式:S&P500指数、欧州株式:ストックス・ヨーロッパ600指数

パシフィック好配当株式ファンド(毎月分配型)

追加型投信／海外／株式

愛称: パシフィック・オーシャンズ



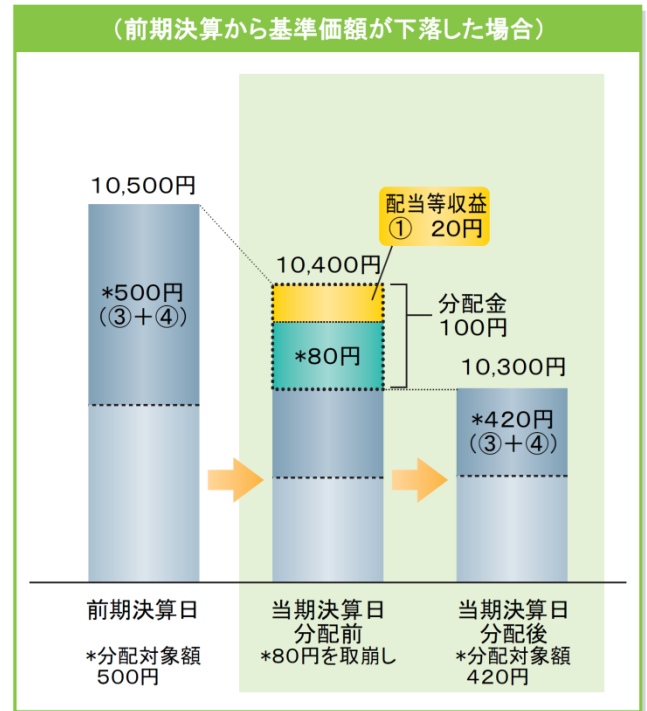
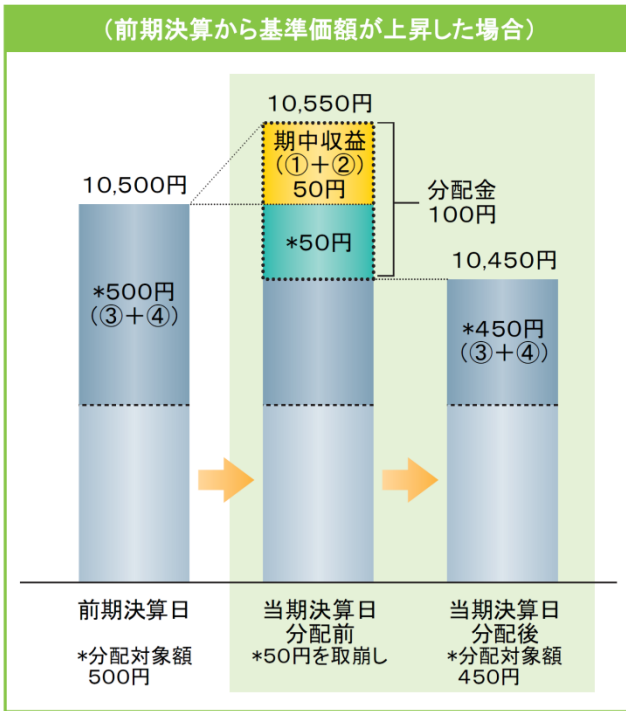
収益分配金に関する留意事項

- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。



- 分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

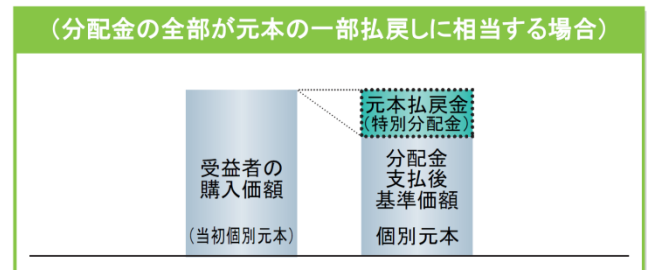
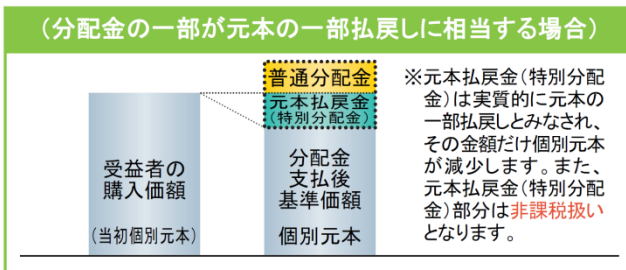
(計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合)



(注) 分配対象額は、①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益ならびに③分配準備積立金および④収益調整金です。分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。

※上記はイメージであり、実際の分配金額や基準価額を示唆するものではありませんのでご注意ください。

- 受益者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。



普通分配金: 個別元本(受益者のファンドの購入価額)を上回る部分からの分配金です。

元本払戻金(特別分配金): 個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の受益者の個別元本は、元本払戻金(特別分配金)の額だけ減少します。

(注) 普通分配金に対する課税については、投資信託説明書(交付目論見書)の「手続・手数料等」の「ファンドの費用・税金」をご参照下さい。



パシフィック好配当株式ファンド(毎月分配型)

追加型投信／海外／株式

愛称: パシフィック・オーシャンズ

ファンドの特色

- パシフィック地域の先進国株式に投資を行います。
- 好配当企業に着目し、定量モデルによる運用を行います。
- 当ファンドは、原則として毎月分配を行うことを目指します。
- 実質的な株式ポートフォリオの運用については、BNYメロン・グループ傘下の運用会社であるメロン・キャピタル・マネジメント・コーポレーションに委託します。

投資リスク

当ファンドは、国内外の投資信託証券を主要投資対象としていますので、投資する投資信託証券の基準価額の変動により、当ファンドの基準価額は大きく変動することがあります。当ファンドは、元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により解約・償還金額が投資元本を下回り、損失を被る可能性があります。運用により信託財産に生じた利益または損失は、すべて受益者に帰属します。当ファンドは、預貯金とは異なります。預金保険または保険契約者保護機構の対象ではありません。また、銀行など登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはなりません。当ファンドの主なリスクは、価格変動リスク、株式の発行企業の信用リスク、流動性リスク、為替変動リスクがあります。

※詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)の「投資リスク」をご覧ください。

ファンドの費用

投資家が直接的に負担する費用							
購入時手数料	3.24%(税抜 3.0%)を上限として販売会社が定める手数料率を、購入申込受付日の翌営業日の基準価額に乘じて得た額となります。 ※自動継続投資契約に基づいて収益分配金を再投資する場合は、申込手数料はかかりません。						
信託財産留保額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額に0.2%の率を乘じて得た額とします。						
投資家が信託財産で間接的に負担する費用							
当該ファンドの運用管理費用(信託報酬)	毎日、信託財産の純資産総額に年率0.9072%(税抜 0.84%)を乘じて得た額とします。 運用管理費用(信託報酬)は、毎計算期末または信託終了のとき、信託財産中から支払われます。 運用管理費用(信託報酬)の配分は、以下のとおりです。						
	<table border="1"> <tbody> <tr> <td>(委託会社)</td> <td>年率0.10%(税抜)</td> </tr> <tr> <td>(販売会社)</td> <td>年率0.70%(税抜)</td> </tr> <tr> <td>(受託会社)</td> <td>年率0.04%(税抜)</td> </tr> </tbody> </table>	(委託会社)	年率0.10%(税抜)	(販売会社)	年率0.70%(税抜)	(受託会社)	年率0.04%(税抜)
(委託会社)	年率0.10%(税抜)						
(販売会社)	年率0.70%(税抜)						
(受託会社)	年率0.04%(税抜)						
投資対象とする投資信託証券の管理報酬等	<ul style="list-style-type: none"> ・メロン・オフショア・ファンズーBNYメロン・パシフィック・エクイティ・インカム・ファンド ・・・純資産総額に対して年率0.80% ・BNYメロン・マネーポートフォリオ・ファンド(適格機関投資家専用) ・・・純資産総額に対して年率0.0324%(税抜0.03%)~0.162%(税抜0.15%) 						
実質的な負担	年率1.7072%程度(概算) ※管理報酬等には年間最低報酬額が定められている場合もあるため、純資産総額によっては年率換算で上記の信託報酬率を上回る場合があります。						
その他費用・手数料	監査費用、目論見書等の作成、印刷および交付費用ならびに公告費用等、その他の管理、運営にかかる費用、組入有価証券の売買の際に発生する売買委託手数料、先物・オプション取引等に要する費用等が、信託財産より支払われます。 (注)この他に、投資対象とする投資信託証券においても、上記費用に類する費用がかかります。 ◆その他費用・手数料については、資産規模および運用状況等により変動しますので、料率、上限額等を表示することができません。						

※詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)の「手続・手数料等」をご覧ください。

ご注意事項

●当資料は、BNYメロン・アセット・マネジメント・ジャパン株式会社が作成した金商法第13条第5項に規定する目論見書以外のその他の資料です。●当資料は信頼できると判断した情報に基づき作成しておりますが、情報の正確性・完全性について保証するものではありません。●当資料に掲載されている数値、図表等は、特に断りのない限り当資料作成時点のものであり、事前の連絡なしに今後変更されることがあります。●当資料中のグラフ、数値等は作成時点のものであり、将来の運用成果等をお約束するものではありません。●当ファンドに生じた損益は、すべて受益者の皆様に帰属します。●当ファンドのご購入に際しては、販売会社よりお渡しします投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、お客様ご自身でご判断ください。